

令和6年度
道民・利用者意見把握調査
結果報告書

令和7年3月



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

－ 目 次 －

調査の趣旨、調査の対象・回答状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1. 道民意見把握調査・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 利用者意見把握調査【共同研究・受託研究】・・・・・・・・	9
3. 利用者意見把握調査【技術支援】・・・・・・・・	13
4. 利用者意見把握調査【知的財産】・・・・・・・・	17

【用語の説明】

○共同研究

技術の向上や製品開発等を希望する企業等からの依頼により、道総研と企業等とが知識・技術・ノウハウ等を持ち寄り、共同で行う研究

○受託研究

道以外の行政機関や企業、団体等の外部機関からの依頼により、契約又は寄附により実施する研究

○技術支援（技術相談、技術指導、設備使用、技術開発派遣指導、課題対応型支援、研修生の受入、視察・見学）

これまでの道総研の研究成果や知見、公知の情報等を用いて、道総研の施設内または施設外において、技術的な問題の解決に向け実施する指導・支援

○知的財産

道総研が保有する特許権や実用新案権等

◆調査の趣旨

本調査は、道総研の第3期中期計画・年度計画（令和6年度）における「第2－3－（2）道民意見の把握及び業務運営の改善」を踏まえ、道民の皆様及び道総研の研究、技術支援、知的財産などの各種制度を利用された方からの意見聴取を実施しました。

調査結果は、業務の実施方法や運営の改善などへの反映に努めます。

◆調査の対象・回答状況

（1）道民意見把握調査

対 象 者	道総研が実施したイベントに参加された 道民、事業者		道内市町村、各種団体	
調査方法	アンケートにより実施			
	配布先 ・道民向けイベント 公開デー、道民向けセミナー ・企業向けイベント 成果発表会、企業向けセミナー		配布先 ・市町村 市町村振興協会研修会 ・各種団体 ものづくりサステナフェア ビジネス EXPO	
実施期間	令和6年4月～令和7年3月		令和6年7月、11月	
回答数	道民向けイベント	企業向けイベント	市町村	関係団体
	1,482	937	15	80
	計 2,514			

（2）利用者意見把握調査

	共同研究・受託研究	技術支援	知的財産
対 象 者	令和5年度に道総研と共同研究・受託研究を実施した大学、企業、団体、独立行政法人、地方自治体	令和6年度に道総研の技術支援制度（7項目）を利用された大学、企業、団体	調査開始月末時点において、特許等実施契約を締結している企業
調査方法	Web アンケートまたは直接送付により実施		
実施期間	令和6年6～7月	令和6年4月 ～令和7年2月	令和6年11月～12月
配布数	64		15
回答数	49	140	10
回答率(%)	77		67

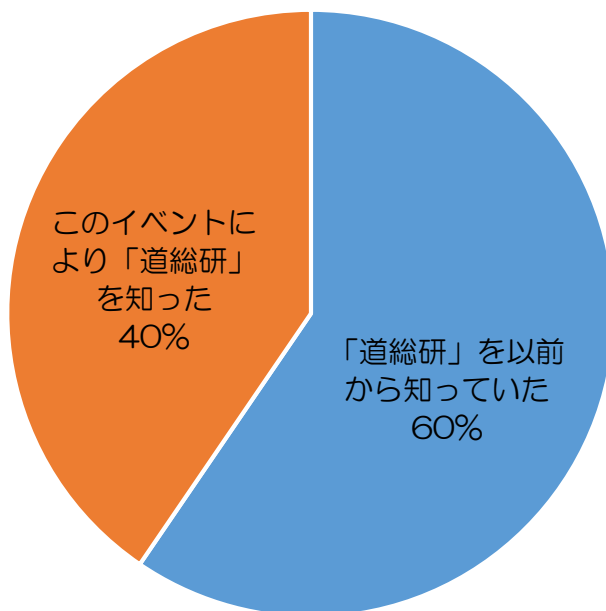
※技術支援のアンケート配布数は未把握

1. 道民意見把握調査

【問1 「道総研」をご存知ですか】

〔道民・企業向けイベント参加者〕

N=2,360 件（有効回答数）

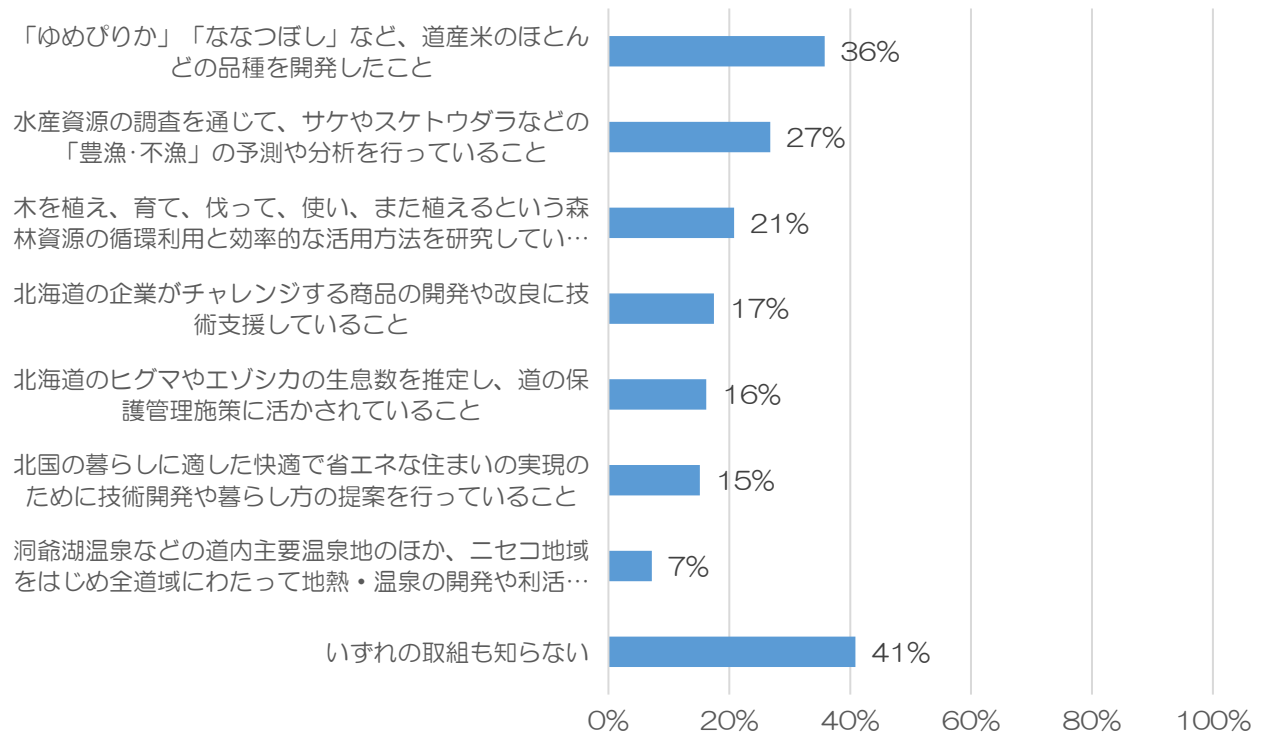


○ 「『道総研』を以前から知っていた」のは、60%であった。

【問2 道総研の次の取組のうち、ご存知のものはありますか（複数回答可）】

〔道民向けイベント参加者〕

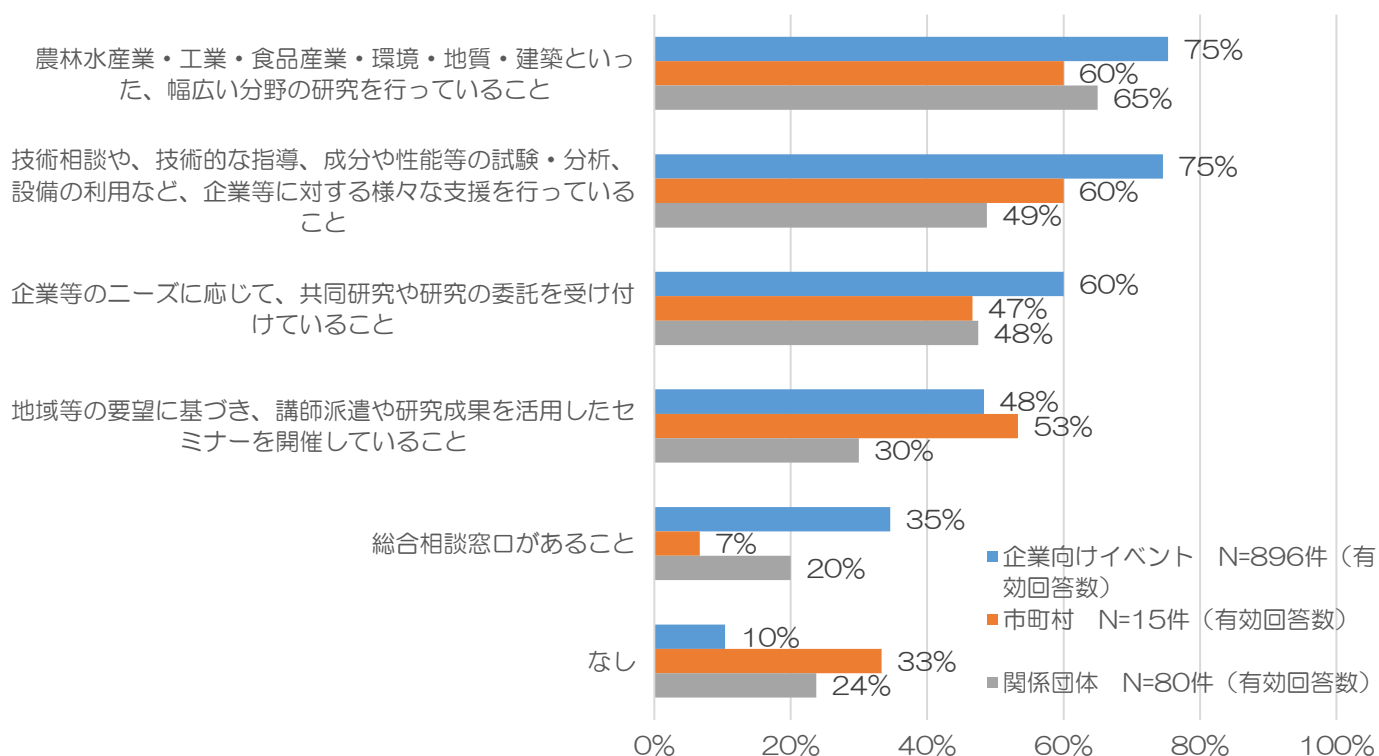
N=1,236 件（有効回答数）



- 「道産米の品種を開発」が、36%。次いで、「豊漁・不漁の予測や分析」が27%、「森林資源の循環利用」が21%であった。
- 「いずれの取組も知らない」のは41%であった。

【問3 道総研の次の取組のうち、ご存知のものはありますか（複数回答可）】

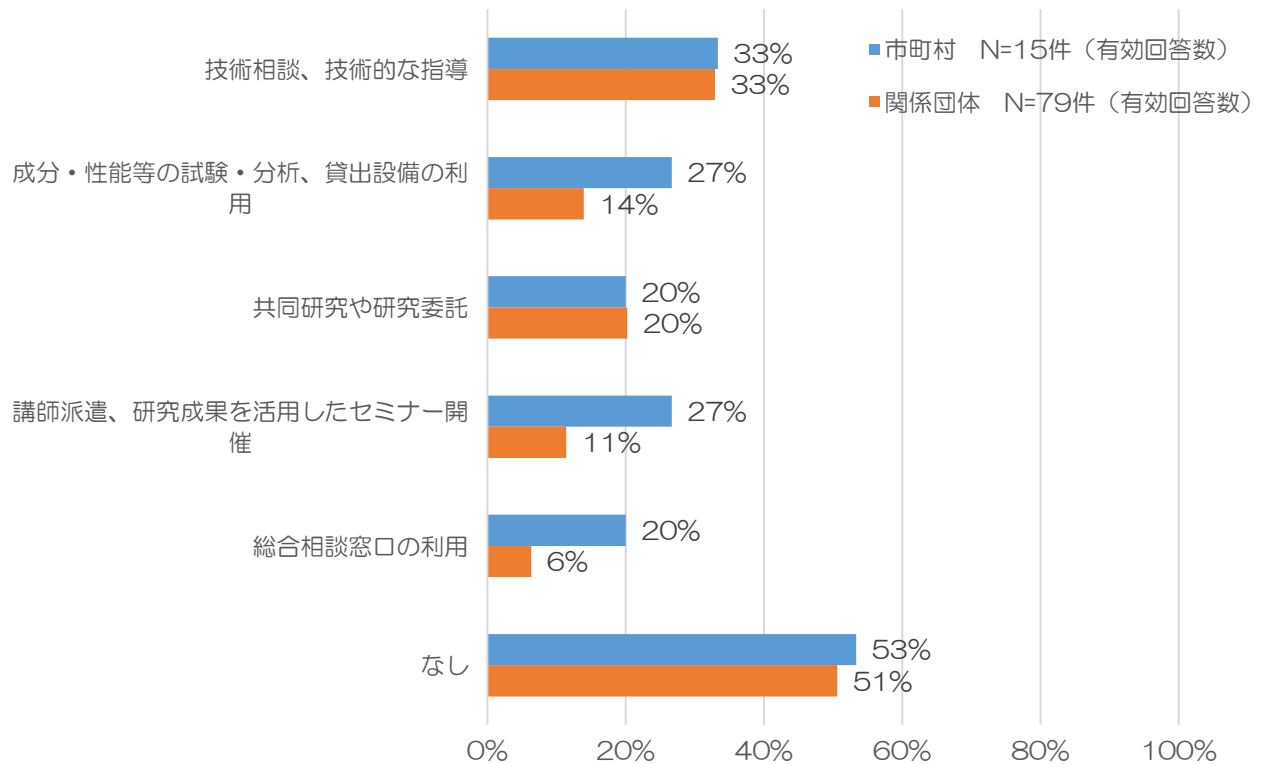
〔企業向けイベント参加者、市町村・関係団体〕



- 企業では、「幅広い分野の研究」「様々な支援」がともに 75%、市町村も同様の二項目でともに 60%、関係団体では、「幅広い分野の研究」が 65%であった。
- 「総合相談窓口があること」は、企業で 35%、市町村で 7%、関係団体で 20%にとどまった。

【問4 道総研の次の取組のうち、活用したことがあるものはありますか（複数回答可）】

〔市町村・関係団体〕

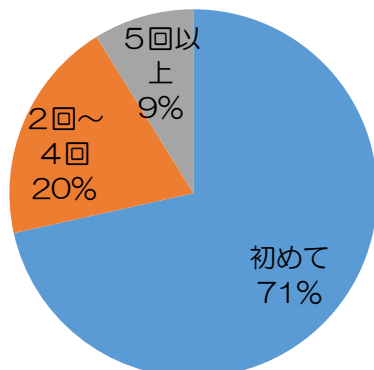


○ 「技術相談、技術的な指導」が、市町村、関係団体ともに 33%であった。

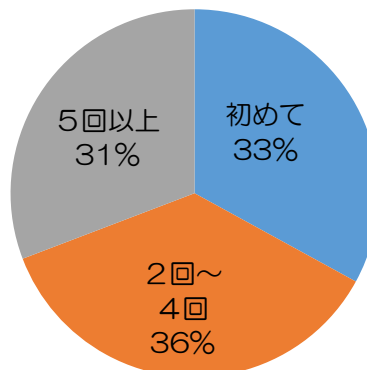
【問5-1 道総研のイベントに参加するのは、何回目ですか】

〔道民・企業向けイベント参加者〕

＜道民向けイベント＞
N=1,292 件（有効回答数）



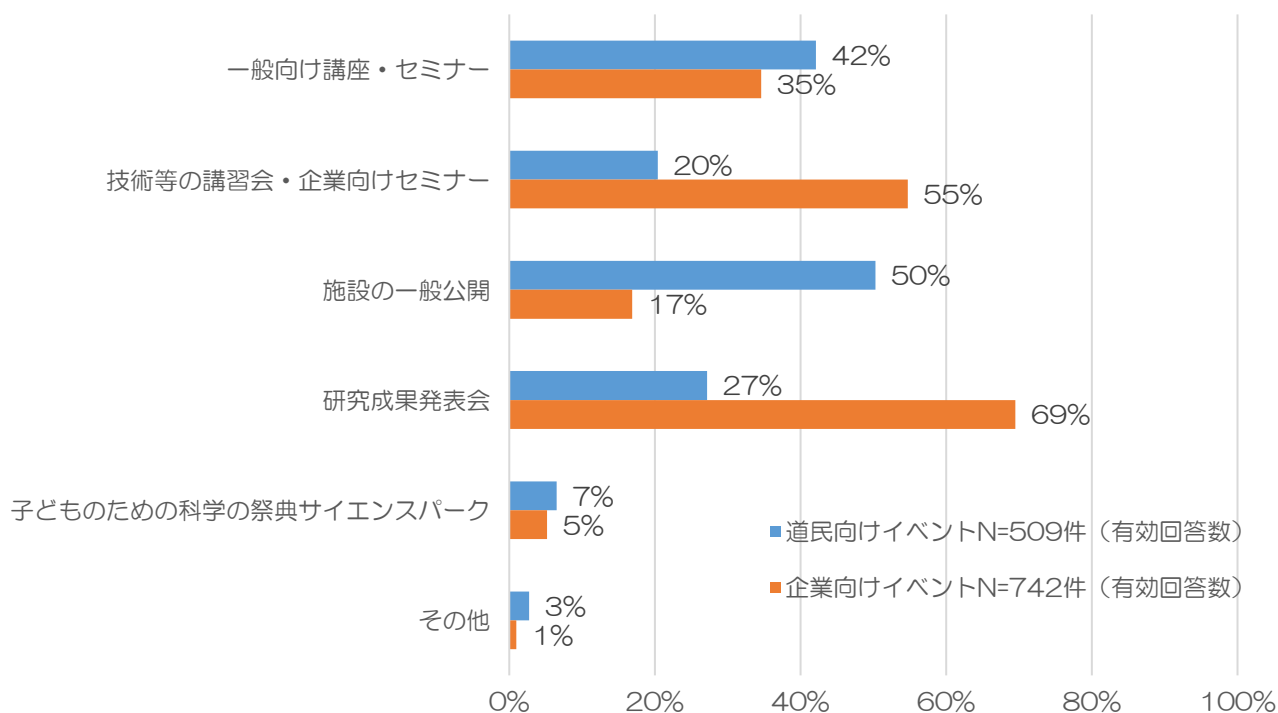
＜企業向けイベント＞
N=919人（有効回答数）



- 道民向けイベントの参加者は、「初めて」が71%。
- 企業向けイベントの参加者は、「2回～4回」が36%、「5回以上」が31%で、2回以上の参加者が「初めて」を上回った。

【問5-2 過去に参加したイベントはどれですか（複数回答可）】

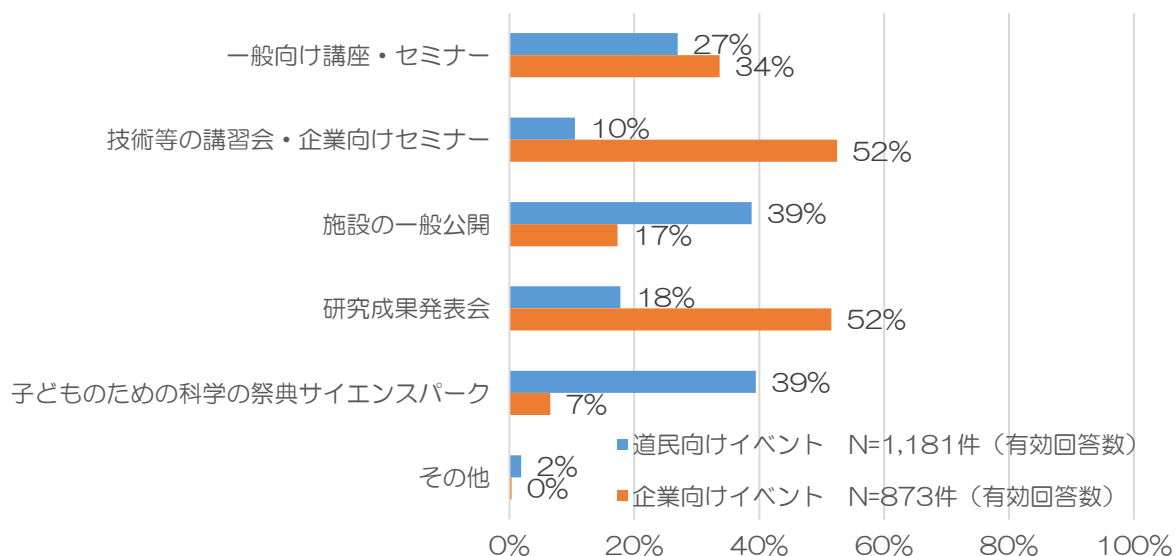
〔道民・企業向けイベント参加者〕



- 過去に参加したことのあるイベントについて、道民向けイベント参加者では「施設の一般公開」が50%、次いで「一般向け講座・セミナー」が42%。
- 企業向けイベント参加者では「研究成果発表会」が69%、次いで「技術等の講習会・企業向けセミナー」が55%であった。

【問6 どのようなイベントに参加してみたいですか（複数回答可）】

〔各イベント参加者〕



- 「参加してみたい」イベントは、道民向けイベントでは「施設の一般公開」「サイエンスパーク」が39%、企業向けイベントでは「技術等の講習会・企業向けセミナー」「研究成果発表会」が52%であった。

＜参加してみたい理由等（抜粋）＞

●施設の一般公開

道民向け	普段見ることができない機械、システムを見られるから
	日常では体験することができないから
	実際に研究を行っている現場を見て、将来の就職先について考えたいから

●サイエンスパーク

道民向け	子供と一緒に知らないことを学ぶのが楽しいから
	理科の実験など体験できるなら楽しそうなので
	子どもが楽しむことが未来へとつながる

●技術等の講習会・企業向けセミナー

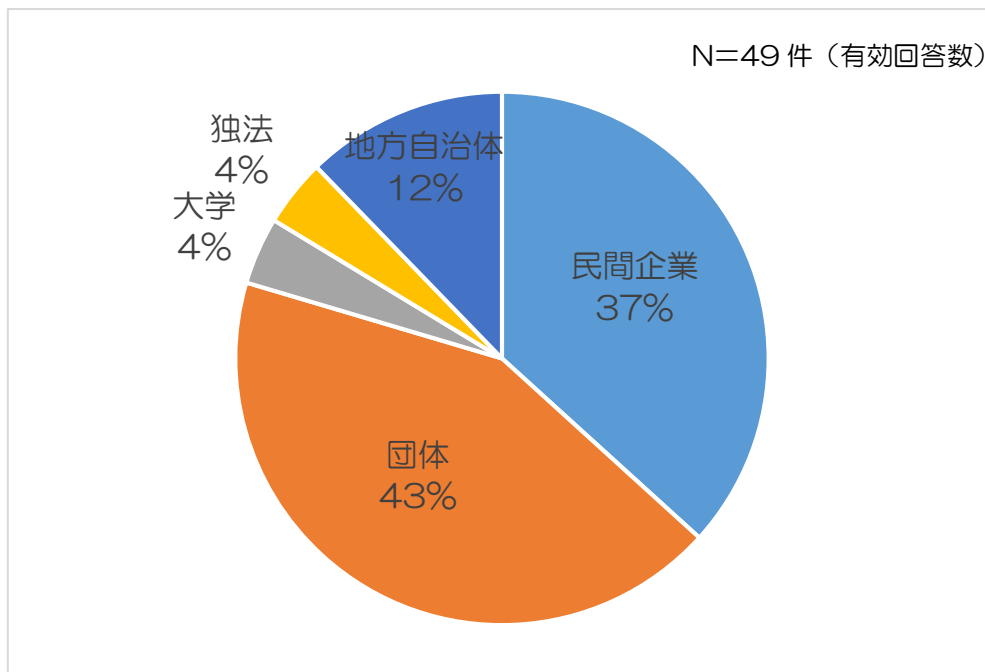
企業向け	書籍では得られないことについて学びたい
	先進技術に触れられるほか、その他の相談にも乗っていただけるから
	業務効率化と営業範囲の拡大のため

●研究成果発表会

企業向け	最新の研究を知ることができるから
	貴機構が行っている研究の成果や発表の仕方、現在抱えている課題などを知りたい
	会社が抱える問題・課題に対する取り組みの際の参考にしたい

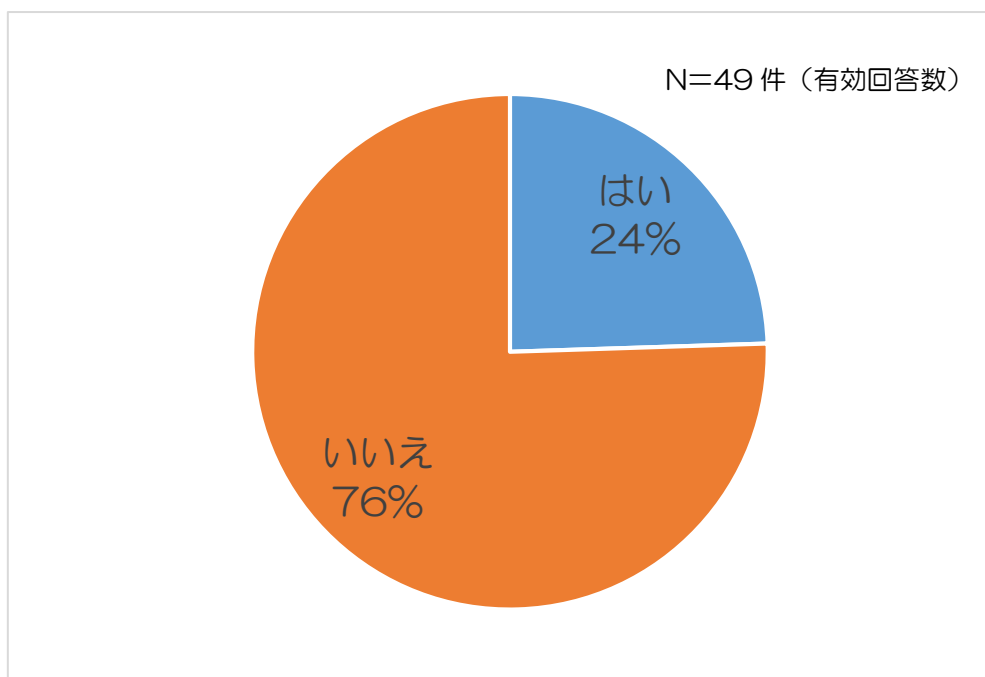
2. 利用者意見把握調査（共同研究・受託研究）

【回答者属性】



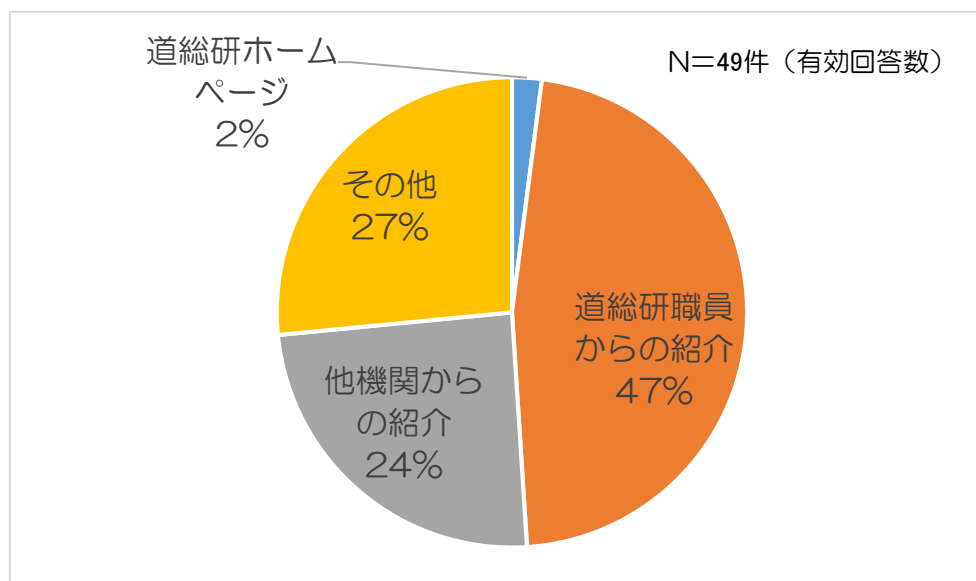
- 協議会、工業会等の「団体」が43%（21 機関）。次いで、「民間企業」が37%（18 機関）、「地方自治体」が12%（6機関）、「大学」が4%（2機関）、「独立行政法人」が4%（2機関）であった。

【問1 共同研究・受託研究を行ったのは初めてですか】



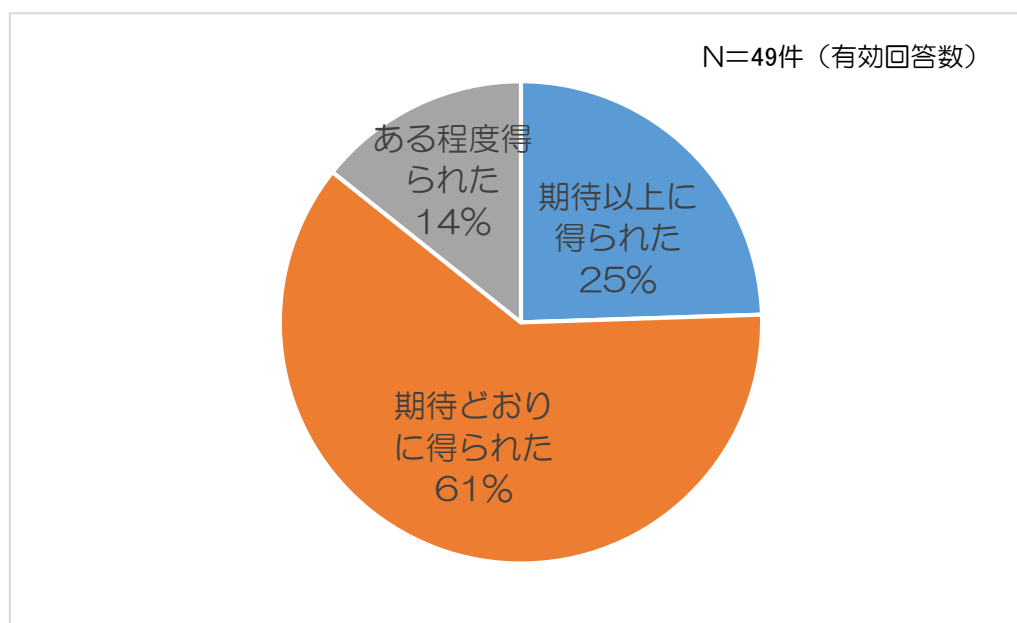
- 以前に共同研究、受託研究を行ったことがあるのは、76%（37 機関）であった。

【問2 道総研が共同研究・受託研究を受け入れていることを知ったきっかけは何でしたか】



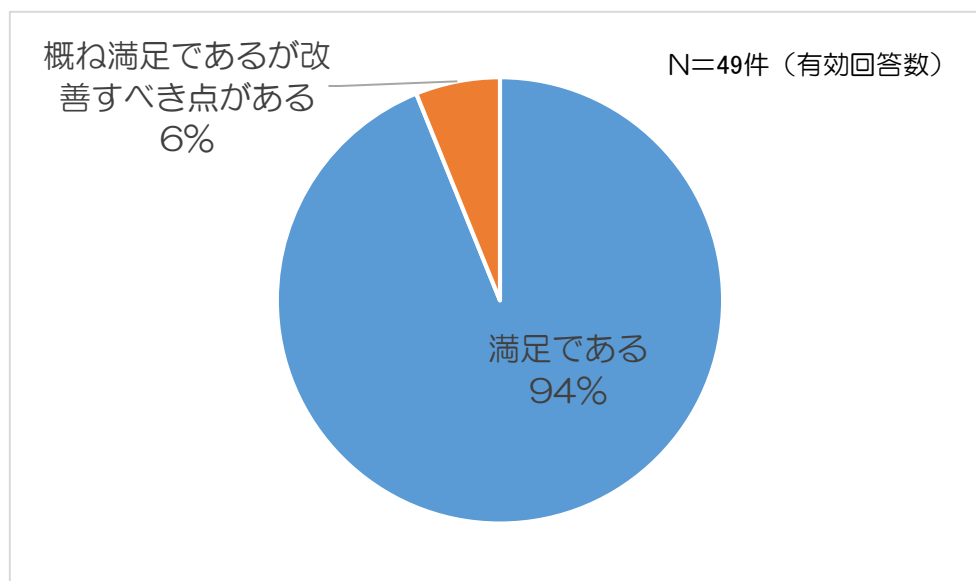
- 「道総研職員からの紹介」が47%（23機関）。次いで、「その他」が27%（13機関）、「他機関からの紹介」が24%（12機関）、「道総研ホームページ」が2%（1機関）であった。
- 「その他」の内容は以下のとおり
「以前より交流させていただいていたため」「生産基盤整備対策事業として継続実施するため」など。

【問3 今回の共同研究・受託研究で期待した成果が得られましたか】



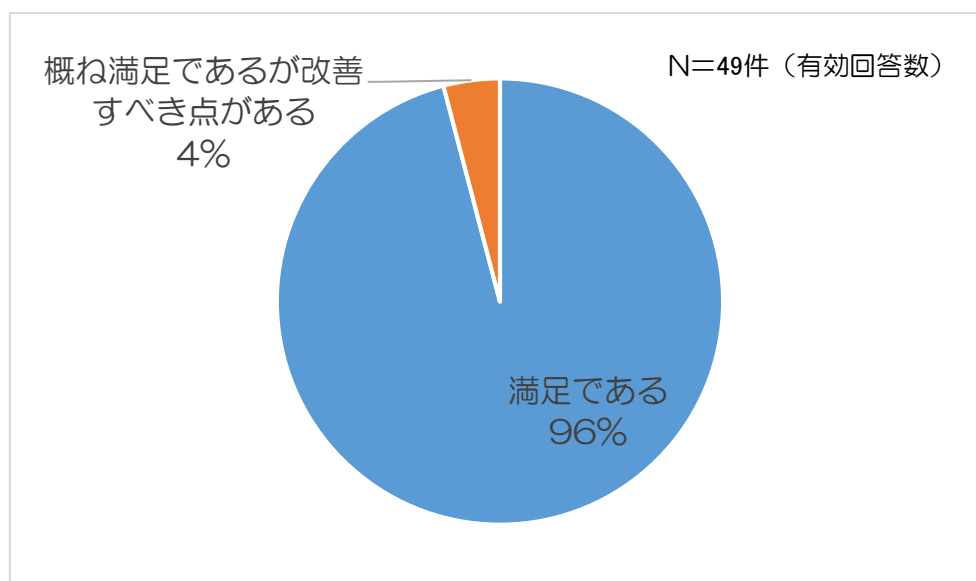
- 「期待以上に成果が得られた」が25%（12機関）、「期待どおりに成果が得られた」が61%（30機関）であり、あわせて86%（42機関）であった。
- 「ある程度得られた」が14%（7機関）であった。
- 「あまり得られなかった」「得られなかった」との回答はなかった。

【問4 共同研究・受託研究に関する契約事務（事前打合せ～締結）はいかがでしたか】



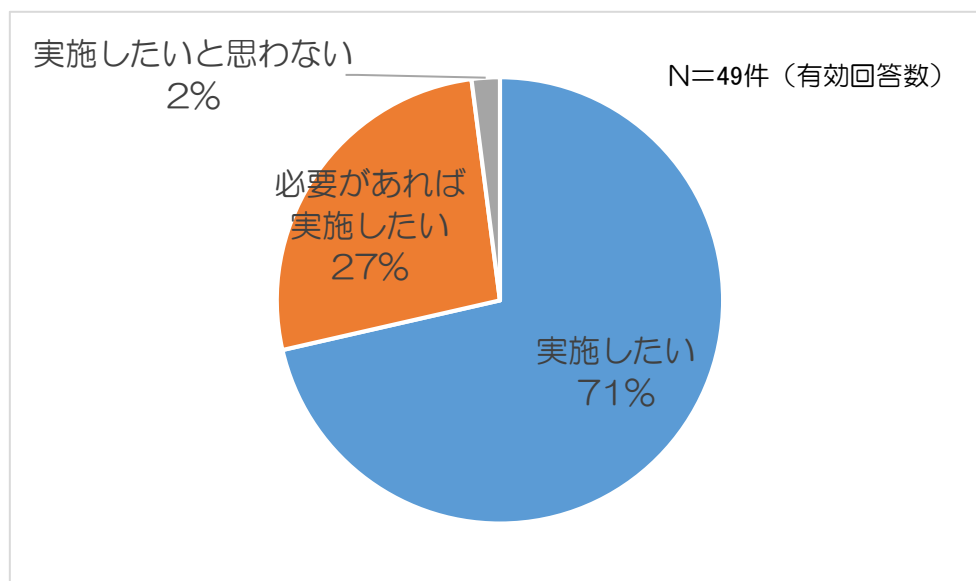
- 「満足である」が 94%（46 機関）、「概ね満足であるが改善すべき点がある」が6%（3機関）であった。
- 主な意見として、「研究の業務と並行して事務を行わなければならない状況下により、事務手続きがスムーズにいかない場面もあった。事務手続き専任の事務職の方が各場にいると、よりスムーズに手続きが進められるのではないかと思う」「契約締結までに時間がかかり、研究実施の期間が短くなったことは非常に残念」「依頼者と研究者、契約担当者の情報連絡が不十分で事業開始までに時間を要した」などがあつた。
- 「不満である」との回答はなかった。

【問5 共同研究・受託研究における打合せ・進捗状況報告・成果報告など道総研とのコミュニケーションはいかがでしたか】



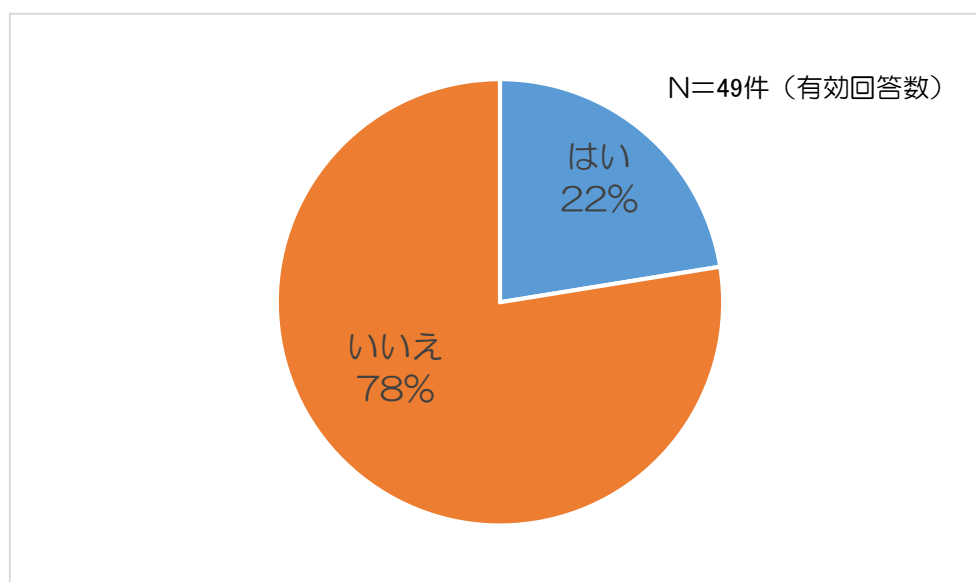
- 「満足である」が 96%（47 機関）で、「概ね満足であるが改善すべき点がある」が4%（2機関）で、「実施場所との物理的な距離があり、コミュニケーション不足を感じるがあつた」との意見があつた。
- 「不満である」との回答はなかった。

【問6 今後も、道総研と共同研究・受託研究を実施したいと思いますか】



- 「実施したい」が71%（35 機関）で、「必要があれば実施したい」が27%（13 機関）であった。
- 「実施したいと思わない」が2%（1 機関）で、「当社が2～3年で解散となるため」との意見があった。

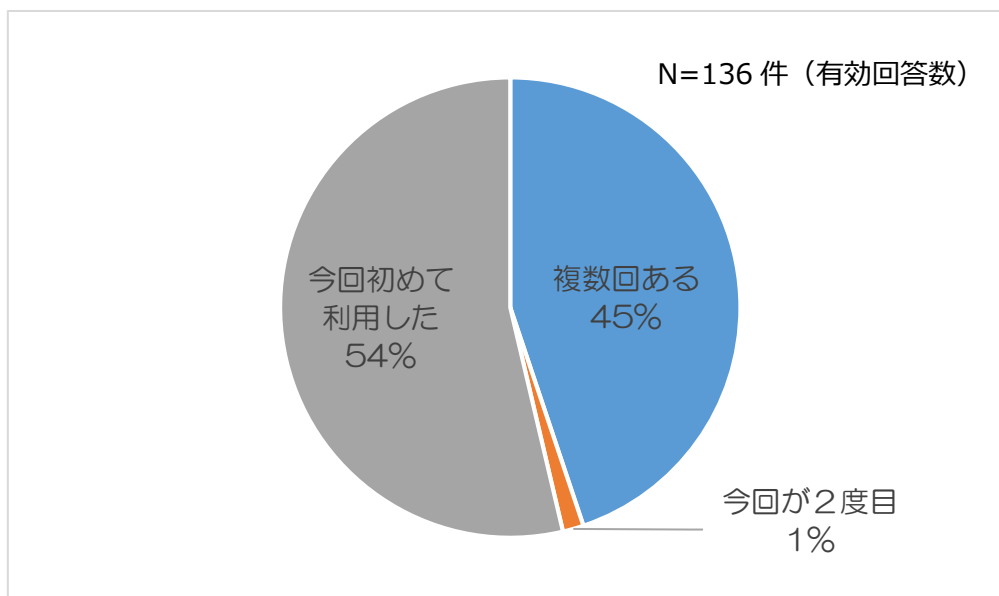
【問7 道総研との共同研究・受託研究について他の方にご紹介されたことはありますか。あるいは興味を持っている方はいらっしゃいますか】



- 「いいえ」が78%（38 機関）であった。
- 「はい」が22%（11 機関）であった。
「弊社ユーザーや関係者に対して道総研との共同研究である旨をアピールしている」などの意見があった。

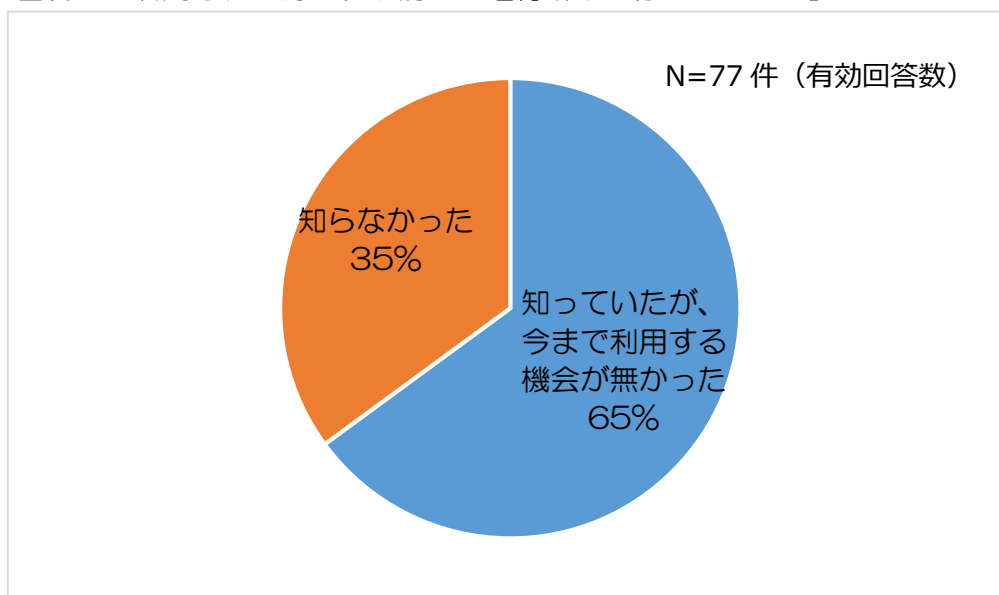
3. 利用者意見把握調査（技術支援）

【問1 今までも、道総研の各種技術支援制度を利用したことがありますか】



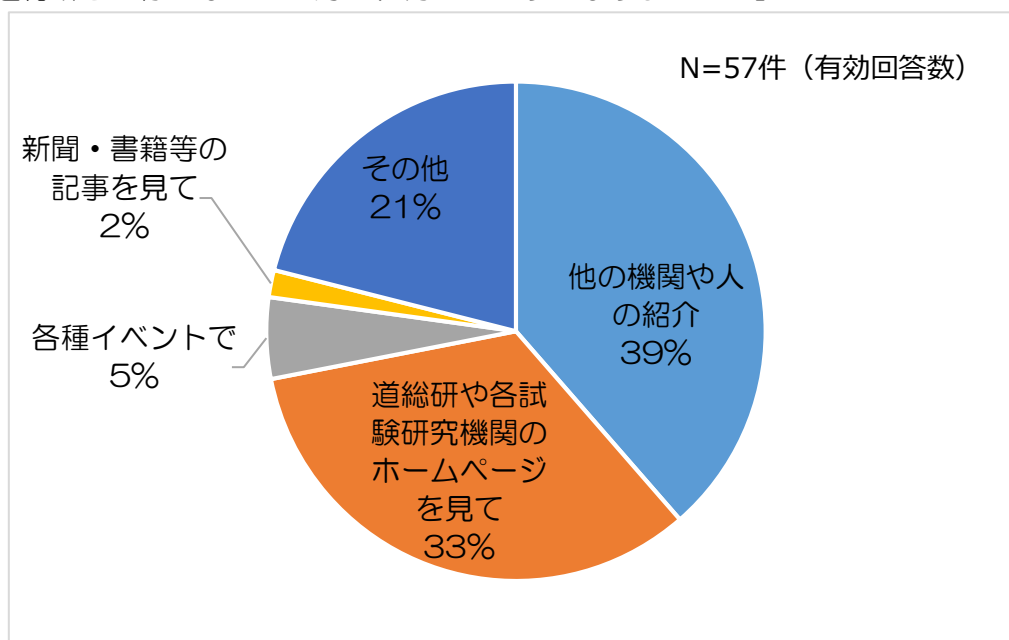
- 「今回初めて利用した」が54%（73 件）であった。次いで、「複数回ある」が45%（61 件）、「今回が2度目」が1%（2 件）であった。

【問2 今回初めて利用された方は、以前から道総研をご存知でしたか】



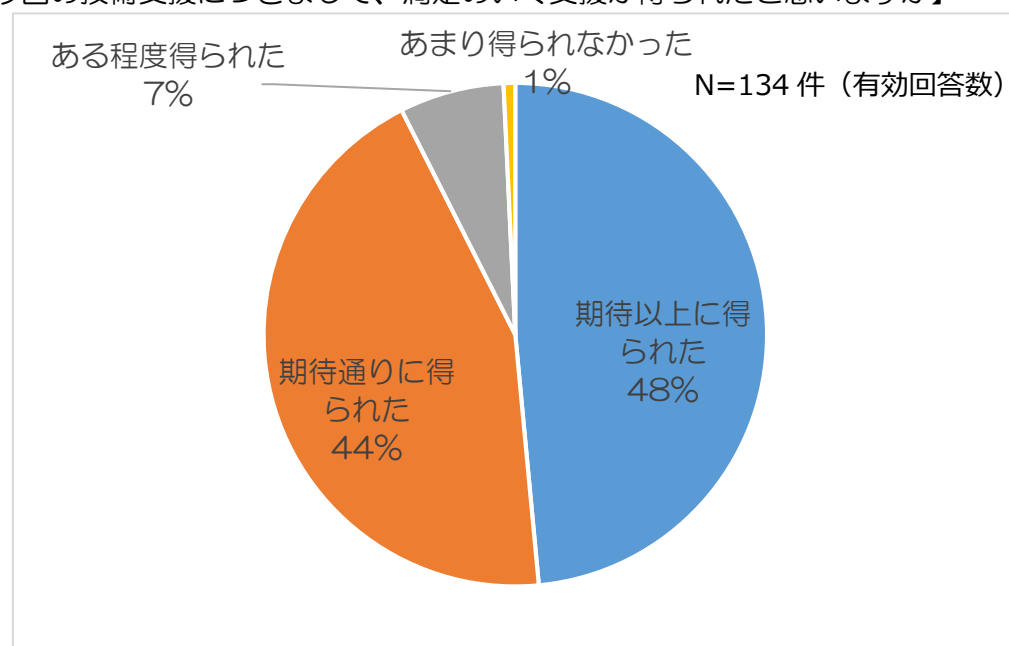
- 「知っていたが、今まで利用する機会が無かった」が65%（50 件）、「知らなかった」が35%（27 件）であった。

【問3 道総研をご存知なかった方は、何でお知りになりましたか】



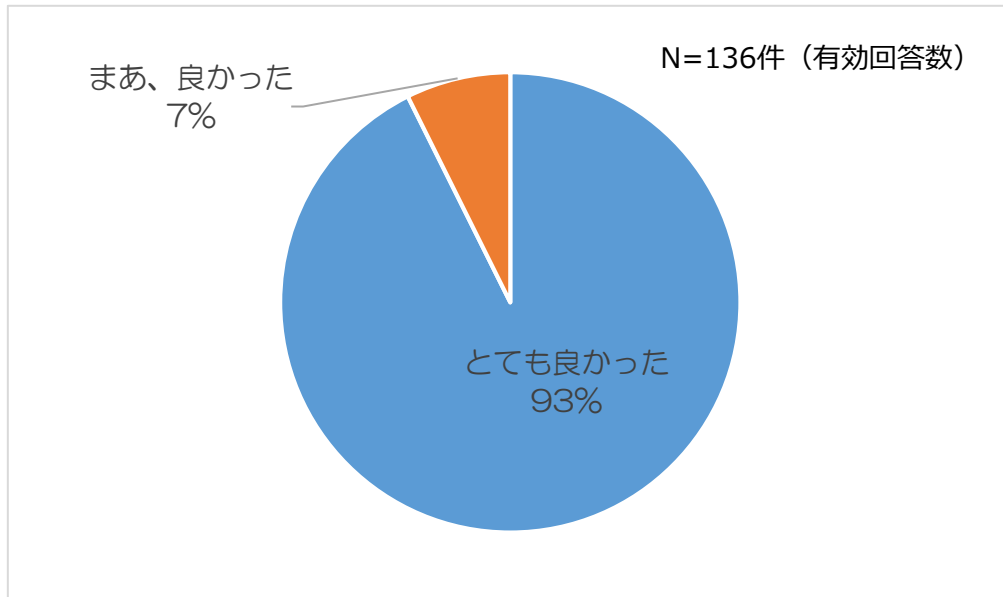
- 「他の機関や人の紹介」が最も多く 39%（22 件）であった。次いで、「道総研や各試験研究機関のホームページを見て」が 33%（19 件）、「各種イベントで」が 5%（3 件）、「新聞・書籍等の記事を見て」が 2%（1 件）、「その他」が 21%（12 件）であった。
- 「その他」の内容は以下のとおり
 - ・同僚からの紹介（依頼試験・林産試験場、技術相談・食品加工研究センター）
 - ・学校の授業で知った（設備使用・林業試験場）

【問4 今回の技術支援につきまして、満足のいく支援が得られたと思いますか】



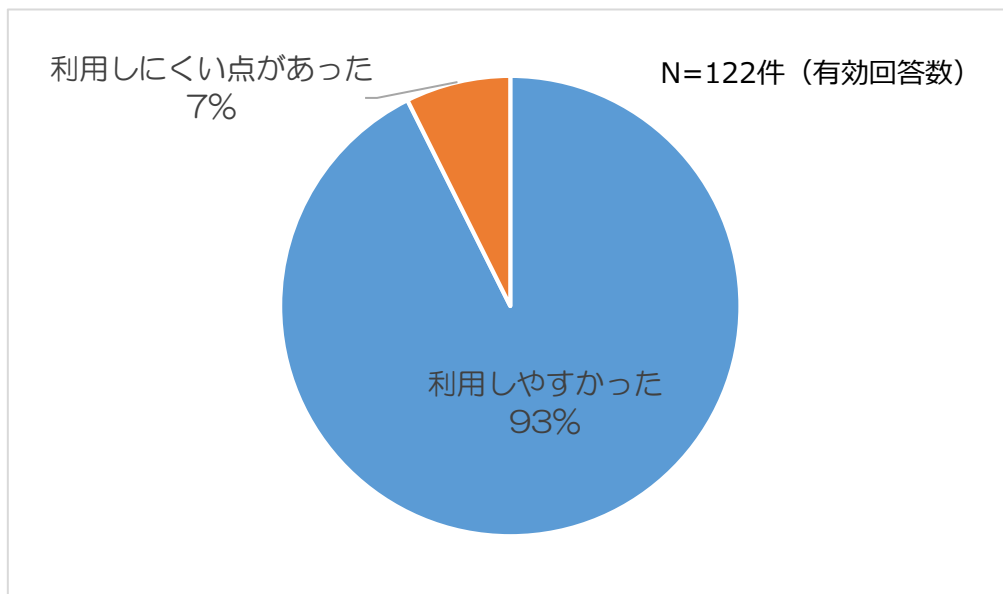
- 「期待以上に得られた」が 48%（65 件）、「期待通りに得られた」が 44%（59 件）、「ある程度得られた」が 7%（9 件）、「あまり得られなかった」が 1%（1 件）であった。
- 「得られなかった」との回答はなかった。

【問5 職員の対応はいかがでしたか】



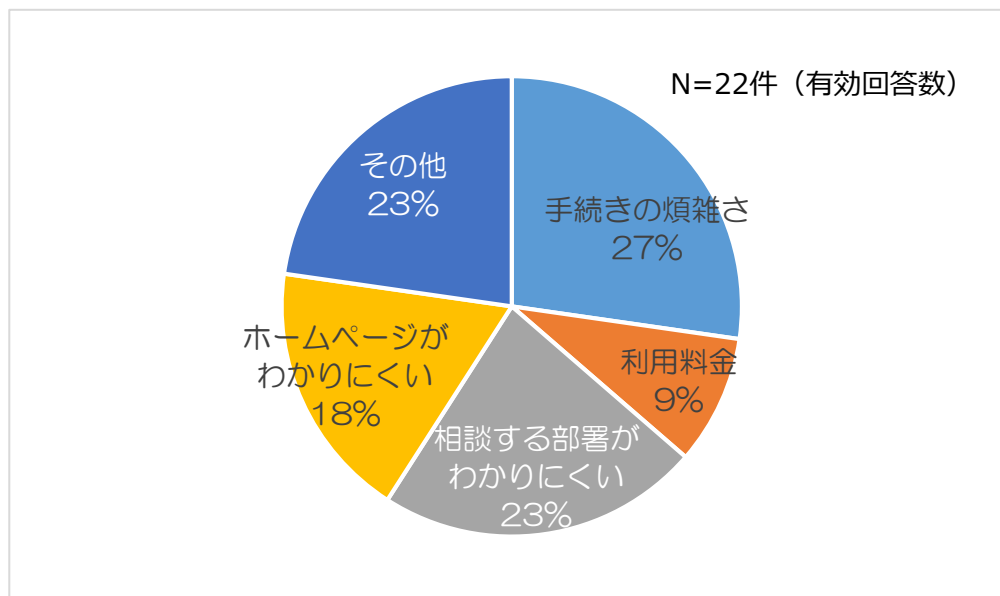
- 「とても良かった」が93%（126件）、「まあ良かった」が7%（10件）であった。
- 「普通だった」「あまり良くなかった」「良くなかった」との回答はなかった。

【問6 技術支援の受付方法や手続き等、利用しやすさはいかがでしたか】



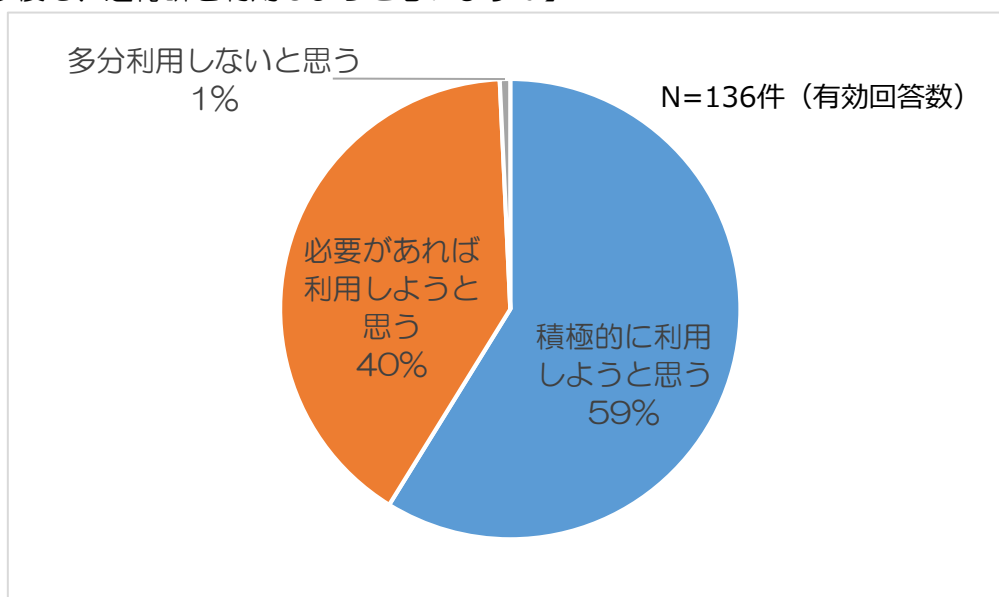
- 「利用しやすかった」が93%（113件）、「利用しにくい点があった」が7%（9件）であった。
- 「利用しにくかった」「改善すべき点がある」との回答はなかった。

【問7 問6で、利用しにくい点・改善すべき点は何ですか】



- 「手続きの煩雑さ」が27%（6件）、次いで「相談する部署がわかりにくい」が23%（5件）、「ホームページがわかりにくい」が18%（4件）、「利用料金」が9%（2件）、「その他」が23%（5件）であった。

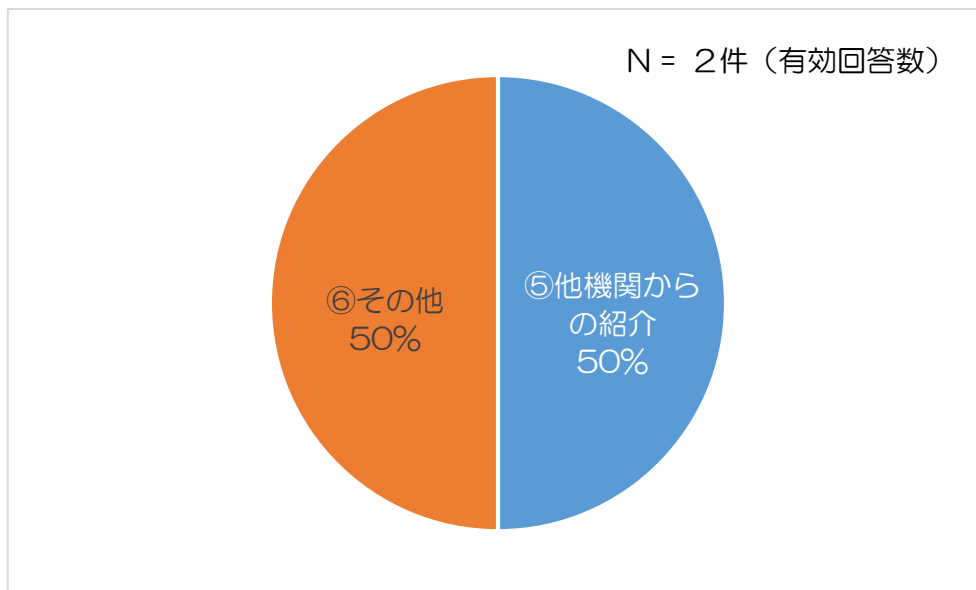
【問8 今後も、道総研を利用しようと思いますか】



- 「積極的に利用しようと思う」が59%（80件）、「必要があれば利用しようと思う」が40%（55件）、「多分利用しないと思う」が1%（1件）であった。
- 「あまり利用しようと思わない」との回答はなかった。

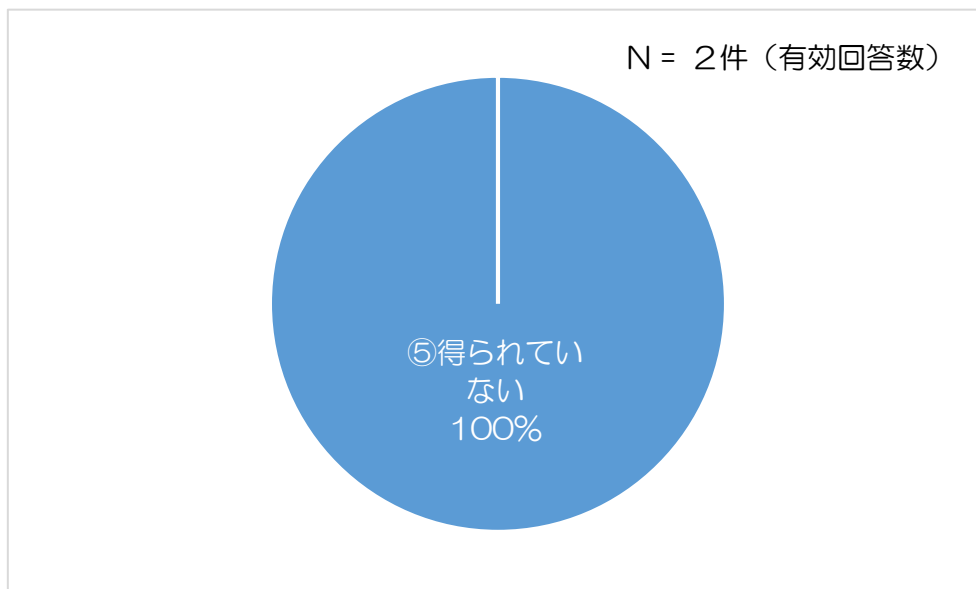
4. 利用者意見把握調査（知的財産）

【問1 現在ご利用の知的財産権はどのように知りましたか（新規契約先）】



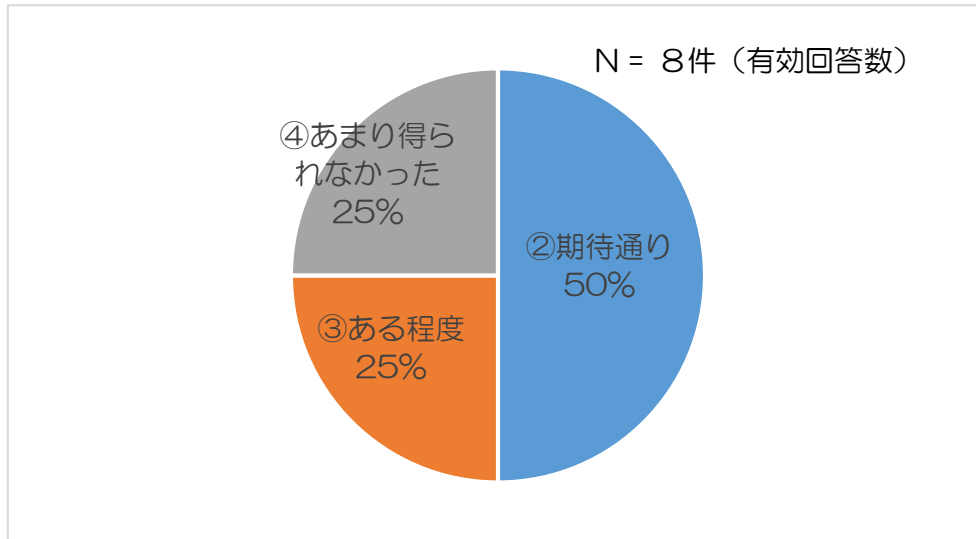
- 「他機関（一般社団法人北海道発明協会）からの紹介」、「その他」がそれぞれ 50%（各 1 件）であった。

【問2 知的財産権を利用して満足いく成果が得られていますか（新規契約先）】



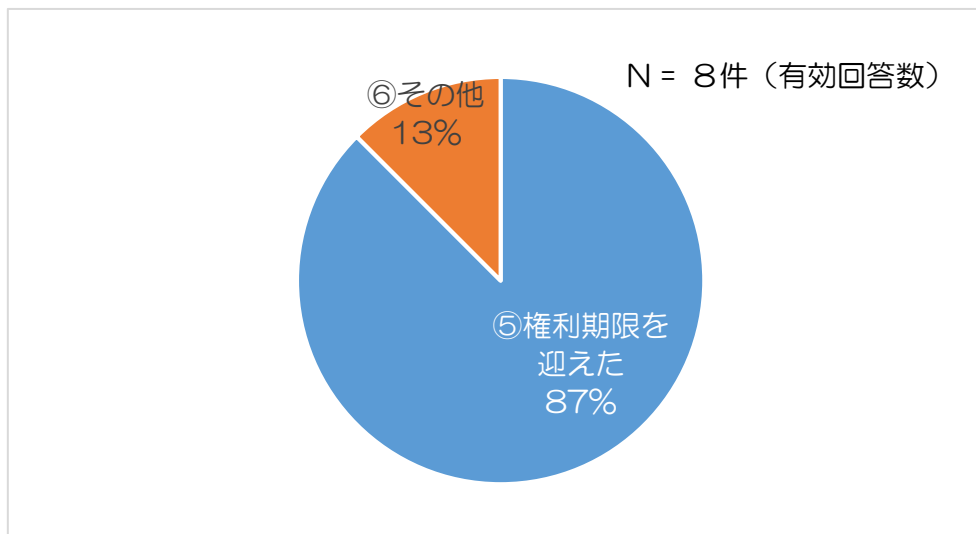
- 「得られていない」が 100%（2 件）であった。

【問3 知的財産権を利用して満足いく成果が得られましたか（契約満了先）】



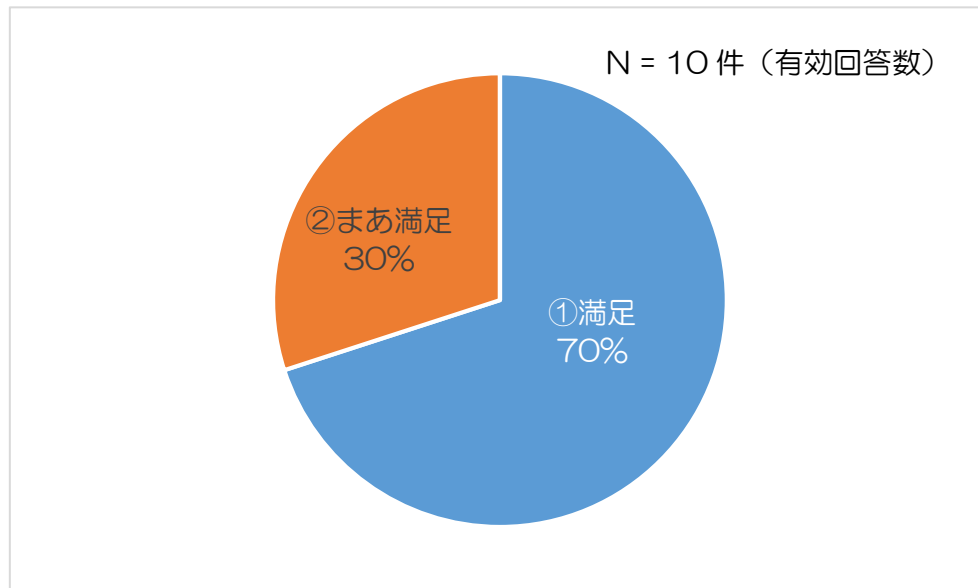
- 「期待通り得られている」が50%（4件）、「ある程度得られている」が25%（2件）、「あまり得られなかった」が25%（2件）であった。

【問4 契約満了となった実施契約について、契約を更新しなかった理由を教えてください（契約満了先）】



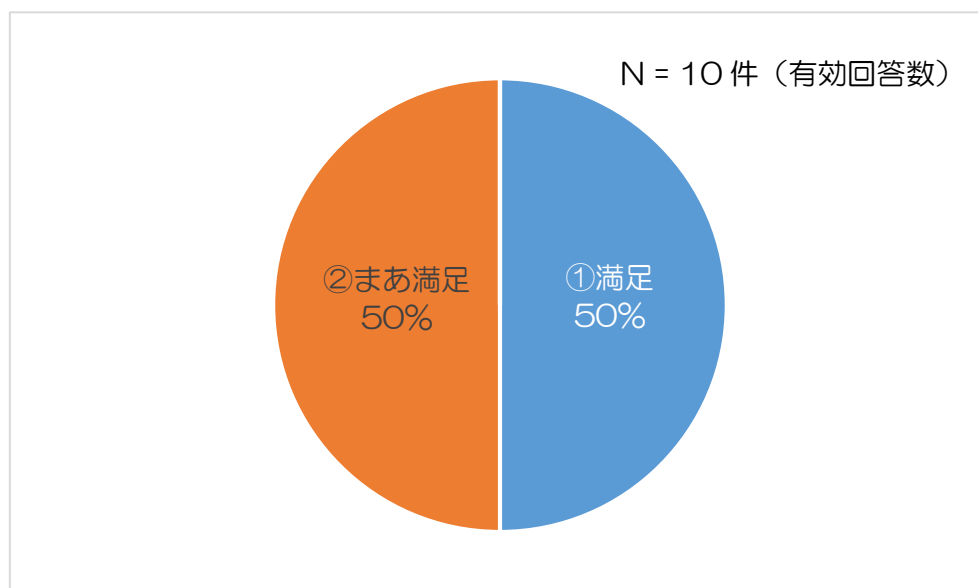
- 「権利期限を迎えた」が87%（7件）、「その他」が13%（1件）であった。
- その他の内容は以下のとおり
- ・原料確保が困難になり製造ができなくなったため。

【問5 手続の進め方（打合せなど）について（新規契約先・契約満了先）】



- 「満足」が70%（7件）で、「まあ満足」が30%（3件）であった。
- 「やや不満」「不満」との回答はなかった。

【問6 契約条件について（新規契約先・契約満了先）】

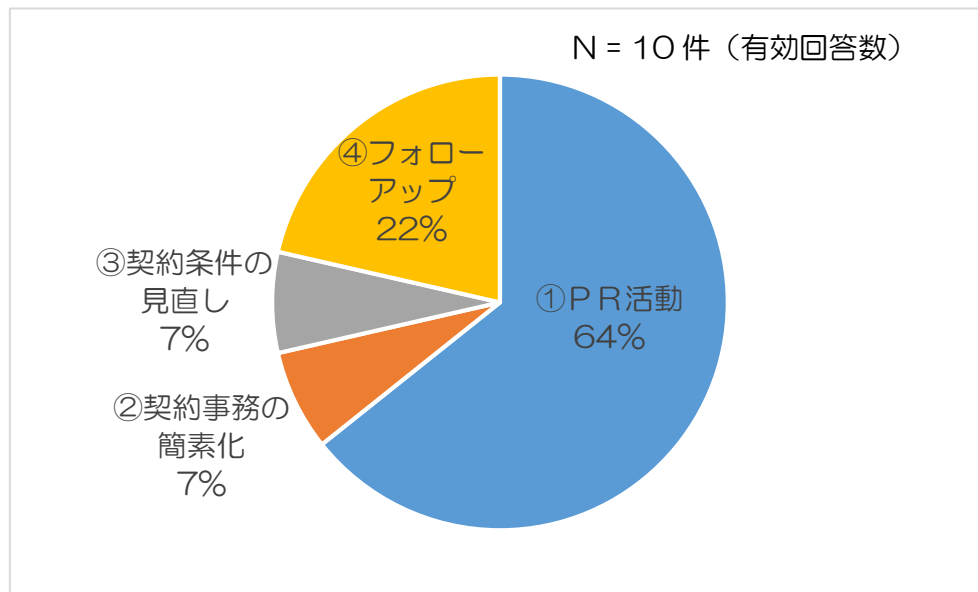


- 「満足」が50%（5件）で、「まあ満足」が50%（5件）であった。

【問7 実施契約に関する事務について（3）（利用しにくい点や改善点）】

- 回答なし

【問8 道総研が保有する知的財産について、より利用しやすいものにするために必要なこと（複数回答可）】



- 「PR 活動」が 64%（9 件）、「知的財産の利用に対するフォローアップ」が 22%（3 件）、「契約事務の簡素化」「契約条件の見直し」がそれぞれ 7%（各 1 件）であった。